

## 第840回宮城県教育委員会臨時会日程

日 時：平成25年4月24日（水）午前10時から

場 所：県行政庁舎 16階 教育委員会会議室

1 出 席 点 呼

2 開 会 宣 言

3 第840回教育委員会会議録署名委員の指名

4 教育長報告

（1）体罰に関する実態調査の結果について

（教 職 員 課）

5 議 事

第1号議案 職員の人事について

（教 職 員 課）

6 閉 会 宣 言

## 体罰に関する実態調査の結果について

### 1 調査内容・方法等

#### （1）調査の趣旨

児童生徒に対する体罰の実態を把握し、今後の体罰の根絶に向けて取り組んでいこうとするもの。

#### （2）調査対象期間

平成24年度中（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の体罰発生事案

#### （3）調査対象校

県立及び市町村立の小・中・高等学校及び特別支援学校（通信制及び仙台市立学校を除く）

※計534校（県立学校91校，市町村立学校443校（小297，中144，高2））

#### （4）調査対象職員

教育職員（校長，副校長，教頭，主幹教諭，教諭，養護教諭，栄養教諭，講師（非常勤含む），実習助手及び寄宿舎指導員） ※事務職員や栄養士は対象外

#### （5）調査方法

市町村教育委員会及び各県立学校が，下記の方法により実態等を把握し，当事者双方への事情聴取等により，体罰として認知したものを県教育委員会に報告

- ① 所属全職員に対し，体罰行為（自ら行ったもののほか，見聞きしたのものも含む）について申告を促すとともに，必要に応じて各教職員に個別面談等により確認
- ② 児童生徒，保護者への調査については，体罰に関するアンケート用紙を全保護者に配布し，回収

### 2 調査結果

#### （1）発生件数等

上記調査の結果，調査対象校534校のうち，48校で77件の体罰があったことが判明した。

|        | 発生学校数(校) | 発生件数(件) | 被害を受けた児童生徒数(人) |
|--------|----------|---------|----------------|
| 小学校    | 9        | 15      | 18             |
| 中学校    | 20       | 34      | 85             |
| 高等学校   | 19       | 28      | 81             |
| 特別支援学校 | 0        | 0       | 0              |
| 計      | 48       | 77      | 184            |

※ 状況や態様等の詳細は別紙のとおり

※ なお，本調査より前に把握・対処した本年度の事案が2件あった。

※ 各教委別の発生件数は，県教委28件，地教委49（白石市2，角田市3，大河原町3，塩竈市3，名取市7，岩沼市2，山元町4，七ヶ浜町4，大和町4，富谷町9，石巻市1，女川町2，気仙沼市5）

## (2) 主な事例

- 清掃指導中、教室において、清掃をさぼっていた児童の胸ぐらを掴み転倒させた。(小学校)
- 授業中、再三注意をしたが私語をやめなかったため、げんこつで生徒の頭を叩いた。(中学校)
- 部活動中、ダラダラしたり、やる気のない態度を見せた生徒に対し、平手で頬を叩いた。(中学校)
- 部活動の練習中、指示どおりにしなかったり、プレミスをした生徒に対して、日常的に、足で蹴ったり、平手で頬を叩いたりした。(高等学校)
- 乱れた服装をしていた生徒に対し指導を行ったが、生徒が指導に従わなかったため、左右の頬を1回ずつ殴った。(高等学校)

## (3) 調査結果から

- 小学校では、授業中に態度をあらためさせようとするなどの場面がほとんどである(10件/15件)。
- 中学校では、部活動中(14件/34件)、授業中(11件)のほか、休み時間(6件)等での発生事案も多く見られる。また、運動場・体育館の他にも、教室やその他の場所での事案も多い。
- 高等学校では、部活動中(19件/28件)が大半を占め、場所も運動場・体育館(19件/28件)が最も多い。
- 体罰の態様としては、平手で叩く、げんこつで叩くなど「素手で殴る」行為が大半であった(49件/77件)。
- 被害の状況では、「傷害なし(69件/77件)」がほとんどであるが、唇が切れたり、こぶができたたりした事案もある。

## 3 体罰根絶に向けた今後の取組

### (1) 体罰禁止の徹底等(体罰についての意識改革)

- 体罰根絶に向けた教育長メッセージの発出
- 体罰防止のためのセルフチェックシートによる点検の実施
- 指導主事による学校訪問指導において、体罰根絶・防止の取組の指導を強化
- 校長会等各種会議での周知徹底
- 部活動指導にかかるチラシの作成・周知
- 関係団体と連携し、体罰によらない部活動指導を徹底

### (2) 研修の実施等

- 指導者を対象とした研修会の開催
  - ・ 生徒指導主事を対象とした研修
  - ・ 部活動指導者を対象とした研修
- 初任者研修、10年経験者研修等において部活動等に関する指導を追加
- 校内研修への支援
  - ・ 校内研修に係る研修パッケージの提供、要請による訪問支援

### (3) 相談体制等の整備

- 県総合教育センター及び県教委での相談対応と周知
  - ・ 県総合教育センターの相談ダイヤル等での教育相談対応
  - ・ 県教委「学校困りごと相談」での相談対応
- 学校としての相談体制の整備の促進
- 体罰事案の県教委・地教委への報告の徹底

(別紙)

|        | ①発生学校数 | ②発生件数 | ③被害を受けた児童生徒数 |
|--------|--------|-------|--------------|
| 小学校    | 9      | 15    | 18           |
| 中学校    | 20     | 34    | 85           |
| 高等学校   | 19     | 28    | 81           |
| 特別支援学校 |        |       |              |
| 計      | 48     | 77    | 184          |

|        | ④体罰時の状況 |     |      |     |      |        |       |    |     |         |       |       |     |
|--------|---------|-----|------|-----|------|--------|-------|----|-----|---------|-------|-------|-----|
|        | (1)場面   |     |      |     |      |        | (2)場所 |    |     |         |       |       |     |
|        | 授業中     | 放課後 | 休み時間 | 部活動 | 学校行事 | ホームルーム | その他   | 教室 | 職員室 | 運動場・体育館 | 生徒指導室 | 廊下・階段 | その他 |
| 小学校    | 10      | 3   | 1    |     | 1    |        |       | 9  |     | 3       |       | 1     | 2   |
| 中学校    | 11      | 2   | 6    | 14  | 1    |        |       | 9  |     | 11      |       | 6     | 8   |
| 高等学校   | 6       |     |      | 19  | 1    | 1      | 1     | 5  | 1   | 19      |       | 1     | 2   |
| 特別支援学校 |         |     |      |     |      |        |       |    |     |         |       |       |     |
| 計      | 27      | 5   | 7    | 33  | 3    | 1      | 1     | 23 | 1   | 33      |       | 8     | 12  |

|        | ⑤体罰の態様 |        |    |           |         |     | ⑥被害の状況 |         |      |    |    |   |   |     |    |        |     |      |
|--------|--------|--------|----|-----------|---------|-----|--------|---------|------|----|----|---|---|-----|----|--------|-----|------|
|        | 素手で殴る  | 棒などで殴る | 蹴る | 投げる・転倒させる | 殴る及び蹴る等 | その他 | 死亡     | 骨折・捻挫など | 鼓膜損傷 | 外傷 | 打撲 |   |   |     | 鼻血 | 髪を切られる | その他 | 傷害なし |
|        |        |        |    |           |         |     |        |         |      |    | 頭  | 顔 | 足 | その他 |    |        |     |      |
| 小学校    | 9      |        | 1  | 1         |         | 4   |        |         |      |    |    |   |   |     |    |        |     | 15   |
| 中学校    | 21     | 4      | 6  |           | 2       | 1   |        |         | 1    | 2  | 1  |   |   |     |    |        | 1   | 29   |
| 高等学校   | 19     | 3      | 1  |           | 2       | 3   |        |         |      | 1  | 2  |   |   |     |    |        |     | 25   |
| 特別支援学校 |        |        |    |           |         |     |        |         |      |    |    |   |   |     |    |        |     |      |
| 計      | 49     | 7      | 8  | 1         | 4       | 8   |        |         | 1    | 3  | 3  |   |   |     |    |        | 1   | 69   |

|        | ⑦体罰事案の把握のきっかけ |        |       |        |     | ⑧体罰事案の把握の手法 |       |        |         |     |          |
|--------|---------------|--------|-------|--------|-----|-------------|-------|--------|---------|-----|----------|
|        | 児童生徒の訴え       | 保護者の訴え | 教員の申告 | 第三者の通報 | その他 | 当事者教員       | その他教員 | 被害児童生徒 | その他児童生徒 | 保護者 | その他(第三者) |
| 小学校    | 2             | 7      | 5     | 5      |     | 15          |       | 3      | 1       | 8   | 3        |
| 中学校    | 6             | 14     | 16    | 12     | 1   | 34          | 11    | 25     | 4       | 20  | 3        |
| 高等学校   | 18            | 13     | 10    | 5      |     | 28          | 3     | 27     | 7       | 8   | 1        |
| 特別支援学校 |               |        |       |        |     |             |       |        |         |     |          |
| 計      | 26            | 34     | 31    | 22     | 1   | 77          | 14    | 55     | 12      | 36  | 7        |

## 体罰の根絶に向けて

東日本大震災から2年が経ちました。復興への道筋は今なお険しく、多くの学校で、まだまだ課題が山積していますが、この間、多くの教職員が、学校活動の正常化に懸命に取り組まれた結果、3度目の春を迎え、子どもたちの元気な声と日常が戻りつつあります。皆様方の御尽力に対して、改めて、皆さん一人一人に心より感謝を申し上げます。

しかし誠に残念なことに、今回の体罰実態調査において平成24年度に77件の体罰が発生していたことが明らかとなりました。

体罰については、これまでも機会あるごとに強く注意喚起を行い、その根絶に向けて長年にわたり取り組んできたところでありましたが、今回このような実態があったことは非常に残念であり、同時に、県教育委員会としても、これまでの体罰防止に向けた取組が十分でなかったものと反省しているところです。

体罰は、学校教育法第11条において明確に禁止されている違法行為であるだけでなく、児童生徒の心身に深刻な悪影響を与え、教育界全体の信頼を失墜させる行為です。いまだに体罰を「指導方法のひとつ」「指導の一環」「行き過ぎた指導」と捉える向きもありますが、そのような考えは改めなければなりません。

教職員が児童生徒一人一人をよく理解し、適切な信頼関係を築きながら、体罰によらない指導に取り組むことで、子どもたちの学校生活はより一層充実したものとなり、宮城の未来を担う人づくりも大きく前進することとなります。

我々教職員の仕事は「子どもの心に灯をつける」ことです。体罰という暴力は、子どもに恐怖と反抗心を植え付け、「心を凍らせる」ものでしかありません。このことを、全職員があらためて心に刻み、暴力ではなく、「子どもの心に灯をつける」指導方法を教職員一人一人が考え実践し、改めて思いを一つにして取り組まれるよう強くお願いします。

県教育委員会としても、各学校からの相談にきめ細かく対応し、学校が抱えるさまざまな課題の解決のために全面的に支援しながら、体罰の根絶に向けて取り組んでまいります。

平成25年4月24日

教職員各位

宮城県教育委員会 教育長

高橋 仁

## 体罰防止のためのセルフチェックシート

体罰防止のためには、普段から折に触れて、自分の指導方法を再確認し、また、自分の指導が児童生徒にどのような影響を与えるか、指導のあり方を考えることが重要です。

● 次の各項目について、最も当てはまる欄にマル(○)をつけてみてください。

| 番号 | 項目  | 当てはまる | ある程度<br>当てはまる | 余り当て<br>はまらない | 全く当て<br>はまらない |
|----|---|-------|---------------|---------------|---------------|
| 1  | 問題が発生したときに、普段から生活態度が悪い児童生徒であったため、理由も聞かず、状況をよく確認せずに頭ごなしに怒ることがある。             |       |               |               |               |
| 2  | 児童生徒を指導しているうちに、興奮し感情的になって、児童生徒を傷つけるような言動や威圧的な態度をとってしまったことがある。               |       |               |               |               |
| 3  | 体罰禁止は分かっているが、根本の原因は児童生徒にあるので、自分の指導方法はやむを得ないものだと考えている。                       |       |               |               |               |
| 4  | 児童生徒と信頼関係ができていれば、指導の一環で叩くことはやむを得ないことで、体罰等は許されるものだと考えている。                    |       |               |               |               |
| 5  | 保護者からは「悪いことをしたときは叩いてください。」と言われているので、問題にはならないと考えている。                         |       |               |               |               |
| 6  | 部活動で厳しく叩いて指導したことで成績や結果を残しているし、また児童生徒が言うことを聞くようになったので、多少の体罰はやむを得ないことだと考えている。 |       |               |               |               |
| 7  | 自分の指導の仕方は体罰にあたるのではないかと悩みながらも、管理職や同僚に気軽に相談できる雰囲気がないため、依然として同じようなやり方を続けている。   |       |               |               |               |
| 8  | 児童生徒を指導する際、大声で怒鳴ったり叩いたりする同僚はいるが、それぞれ独自の指導方法なので口出しすることは控えている。                |       |               |               |               |

● 当てはまる項目が多い場合、体罰を起こす可能性が高いと言われています。  
チェックシートの結果をもとに、当てはまる項目について、校内で自分の考え方を他の先生と一緒に話しあってみましょう。